

平成30年10月29日

会 員 各 位

(公社)岡山県獣医師会  
会 長 春 名 章 宏  
( 公 印 省 略 )

ネコ重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の井笠地域での  
確認について

本県では、本年7月に東備地域のネコでの発生が確認されたところですが、このたび井笠地域の会員動物病院からも本疾病の発生について連絡がありましたので、概要をお知らせします。

なお、本疾病は人の感染症法には規定されていない疾病であることから、発生状況の詳細については不明ですが、人獣共通感染症であり、本年7月以降、県内で人での感染が報告されていますので、飼主へのダニ駆除の指導など感染予防措置に留意願います。

記

1 本症例の概要

飼育者；笠岡市在住

発生動物の概要； 雑種ネコ、年齢7歳7ヶ月、主に屋外飼育の雌で過去にダニ寄生歴有。

10月18日、発症

食欲不振、元気消失、間欠的嘔吐、脱水。

外貌上は、やや削瘦気味であったが、異常なし。

10月22日、初診

発熱は認めず。

血液検査；白血球減少(3,460/ $\mu$ l)、血小板減少(1,300/ $\mu$ l)

ALT上昇(131U/L)、AST上昇(291U/L)CPK上昇(測定限界以上)

総ビリルビン基準値上限(0.5mg/dl)

検体採取し、口腔内スワブ及び血清を山口大学へ送付。

10月24日、遺伝子検査陽性、抗SFTSVIgM抗体陽性

2 獣医師の対応状況

対症療法を実施し、経過観察。

10月29日、元気・食欲回復し、臨床的にはほぼもとの状態まで回復。

3 治療

現段階において、治療法は確立されていない。